

人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成）（賃金助成））計画届
〔建設事業主用〕

労働局長 殿

（公共職業安定所長経由）

人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成）／建設労働者技能実習コース（賃金助成））の計画の届出を行います。

（届出年月日） 年 月 日

<計画の届出を行う際の注意>

○労働局において計画の届出が受理された場合についても、支給申請時に支給申請書及び添付書類において支給要件を満たさないことを確認した場合は、支給できません。

<支給申請を行う際の注意>

- 建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成）の助成金は、その雇用する建設労働者（雇用保険の被保険者に限られます。）へ技能実習を所定労働時間内に受けさせ、その期間、建設労働者に所定労働時間労働した場合に支払われる通常の賃金の額以上の額の賃金を支払った中小建設事業主等に対して支給されます。
- 所定労働時間外に実施する場合は所定の賃金を支払うこと、所定労働日以外の休日に実施する場合は振替休日を与える又は所定の賃金を支払うことが必要です。
- 「通常の賃金の額」とは、当該労働者の時間外、休日及び深夜の割増賃金の算定の基礎となる時間当たり賃金の額に当該労働者の1日平均所定労働時間数を乗じて得た額をいいます。

① 申 請 者	(フリガナ) 中小建設事業主等の名称		② 事 業 内 容 等	イ 常用労働者	人 () 人		
	(フリガナ) 代表者の役職名及び氏名			ロ 資本金・出資総額	万円		
	所在地			ハ 建設業許可番号	大臣知事		
	電話： 携帯電話番号： Eメール：			ニ 雇用保険料率	1,000分の		
	(フリガナ) 代理人又は提出代行者・事務代理者の名称			ホ 雇用保険適用事業所番号	[][][] - [][][][][][][][][] - [][]		
	(フリガナ) 代表者氏名			ヘ 雇用管理責任者の氏名及び員数	他 人		
	[該当するものに○] (代理人・社会保険労務士(提出代行者・事務代理者))			ト 担当者	役職		
	所在地			氏名			
	電話： Eメール：						
	代理人又は提出代行者・事務代理者の担当者の職名及び氏名						
③ 技 能 実 習 計 画	イ① 実施する実習の内容(裏面2(3)イの番号を選択)		ロ 実施日		日 () 年 月 日 ~ () 年 月 日		
	イ② 実施する実習の名称						
	ハ 講習実施機関名(または主催者名)		(電話)				
	ニ 実施場所	学科	(イ) 名称	(ロ) 所在地			
	実技	(イ) 名称	(ロ) 所在地				

(注1) ③ハ「講習実施機関名(主催者名)」は登録教習機関等が実施する実習を受講させる場合に記入してください。また、所属する建設事業主団体が実施する実習を受講させる場合は、当該欄又は本届出余白に当該建設事業主団体が提出した都道府県労働局名及び受理番号を記載してください。

(注2) 1つの技能実習について、一人当たり10万円が経費助成の限度額です。また、一人当たり20日分が賃金助成の限度額です。

(注3) この計画届を提出するときは裏面の注意事項を参照してください。

※ 管轄労働局処理欄	
受理番号：	
受理印	

人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成）（賃金助成））計画届について

1 提出上の注意

- (1) この人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成）（賃金助成））の計画届（以下「計画届」という。）は、建設事業主が技能実習を実施する場合に、所在地を管轄する都道府県労働局（以下「管轄労働局」という。）長又はハローワークに提出するものです。なお、登録教習機関、登録基幹技能者講習実施機関、職業訓練法人又は指定教育訓練実施者（以下「登録教習機関等」という。）が実施する技能実習を受講させた場合は本計画届の提出は不要とします。
- (2) この計画届は、技能実習を実施しようとする日の3か月前から原則として1週間前までに、管轄労働局又はハローワークに提出してください。

2 記入上の注意

- (1) ①「申請者」欄は、申請を行う事業主の名称、代表者の役職及び氏名、所在地を記入してください。また、申請者が代理人の場合、「申請者」欄に当該助成金に係る事業主等の名称、代表者の役職及び氏名、所在地を記入した上、申請者の氏名等の記載をして、委任状（任意様式）（原本）を添付してください。また、申請者が社会保険労務士法施行規則第16条第2項に規定する提出代行者又は同施行規則第16条の3に規定する事務代理者である社会保険労務士である場合は、当該助成金に係る事業主の名称、代表者の役職及び氏名、所在地を記入するとともに、提出代行者又は事務代理者の名称、氏名、所在地を記入してください。
- (2) ②「事業内容等」欄は、次により記入してください。
イ 「常用労働者」欄は、当該企業の常用労働者数を記入してください。なお、常用労働者とは、2か月を超えて使用される者（実態として2か月を超えて使用されている者のほか、それ以外の者であっても雇用期間の定めのない者及び2か月を超える雇用期間の定めのある者を含む。）であり、かつ、週当たりの所定労働時間が、当該事業主に雇用される通常の労働者と概ね同等（現に当該事業主に雇用される通常の労働者の週当たりの所定労働時間が40時間である場合は、概ね40時間である者をいう。ただし、労働基準法（昭和22年法律第49号）の特例として、所定労働時間がまだ40時間を上回っている場合は、「概ね同等」とは、概ね当該所定労働時間を指す。）である者をいいます。
ロ 「資本金・出資総額」欄は計画届提出時における資本金又は出資の総額を記入してください。
- (3) ③「技能実習計画」欄は、次により記入してください。
イ ①「実施する実習の内容（裏面2(3)イの番号を選択）」欄には建設労働者に受けさせる技能実習の番号を次表より選択してください。
なお、次表の1～8の具体的な対象につきましては建設事業主向けパンフレットをご確認ください。

番号	実習内容
1	建設工事における作業に直接関連する実習（2から8以外のもの）
2	労働安全衛生法で定める特別教育
3	労働安全衛生法に基づく危険有害業務従事者に対する安全衛生教育
4	労働安全衛生法に基づく教習および技能講習
5	職業能力開発促進法に規定する技能検定試験のための事前講習
6	建設業法施行規則に規定する登録基幹技能者講習
7	技能継承に係る指導方法の向上のための講習
8	建設業法で定める技術検定に関する講習

- ロ 「実施日」欄は技能実習を実施する日数及び技能実習の初日と終日の日付を記入してください。
ハ 「講習実施機関名（主催者名）」欄は技能実習を委託して実施する場合に記入してください。

3 届出を行った計画の変更

届出を行った計画について、次のような変更を行うときは、「人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース）に係る計画変更届」（建技様式第2号）により、当初計画していた訓練実施日もしくは変更後の訓練実施日のいずれか早い方の日の前日までに変更の届出を行って下さい。

- ③イ①「実施する実習の内容（裏面2(3)イの番号を選択）」、③ロ「実施日」、③ハ「講習実施機関名（主催者名）」、③ニ「実施場所」に変更が生じた場合

4 その他

- (1) 労働局において計画届が受理された場合についても、支給申請時に支給申請書及び添付書類において支給要件を満たさないことを確認した場合は、支給できません。
- (2) 偽りその他不正の行為により助成金の不支給措置がとられている場合は助成金を支給できないなど、助成金の支給には一定の要件があります。
- (3) 助成金の支給に関して管轄労働局又はハローワークに提出した書類等の写しを支給決定日から起算して5年間保存してください。
- (4) 偽りその他不正の手段により助成金の支給を受けた場合は、支給した助成金の全部又は一部を返還していただきます。
- (5) 助成金について不明な点がありましたら、管轄労働局又はハローワークにお問い合わせ下さい。